

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年4月7日(2011.4.7)

【公表番号】特表2010-522028(P2010-522028A)

【公表日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【年通号数】公開・登録公報2010-026

【出願番号】特願2009-554618(P2009-554618)

【国際特許分類】

A 61 C 7/20 (2006.01)

A 61 C 19/04 (2006.01)

【F I】

A 61 C 7/00 A

A 61 C 19/04 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月17日(2011.2.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

歯列矯正治療用のインダイレクトボンディングトレーを製造する方法であって、患者の歯列弓の少なくとも一部を表すデジタルデータファイルを提供する工程と、前記歯列弓上の歯列矯正装具の所望の位置を決定する工程と、

前記デジタルデータファイルを用いて前記患者の歯列弓模型を形成する工程であって、前記患者の歯列弓模型を形成する前記行為が、前記模型上の前記歯列矯正装具の前記所望の位置に対して既知の物理的特性を有するガイドを提供する行為を含む工程と、

装具ホルダと前記歯列矯正装具のアーチワイヤスロットとを接続する工程と、

前記ホルダと前記装具のアーチワイヤスロットとを接続しながら、前記ホルダと前記ガイドとを接触させる工程であって、前記ホルダと前記ガイドとを接触させる前記行為が、前記患者の歯列弓上の前記装具の前記所望の位置に対応する前記模型上の位置に前記装具を移動させる行為を含む工程と、

前記歯列矯正装具を含む前記歯列弓模型上でインダイレクトボンディングトレーを形成する工程と、を備える方法。

【請求項2】

歯列矯正治療用のインダイレクトボンディングトレーを製造するためのアセンブリであって、

ラピッドプロトタイピング材料を含む歯列弓模型であって、ガイドを含む歯列弓模型と、
アーチワイヤスロットを有する歯列矯正装具と、

前記歯列矯正装具を保持するためのホルダであって、前記アーチワイヤスロットに少なくとも部分的に受容される外端を有するホルダと、を含み、前記ホルダが前記ガイドに接觸しているとき、前記歯列矯正装具が前記歯列弓模型上の所望の予め選択した位置に位置決めされる、アセンブリ。

【請求項3】

歯列矯正治療用のインダイレクトボンディングトレーを製造する方法であって、

前記患者の歯列弓模型及び前記模型弓に接続している複数の歯列矯正装具を提供する工

程と、

ある量のマトリックス材料をトレー成型容器の空洞内に分配する工程であって、前記トレー成型容器が咬合停止部材に一体に接続している工程と、

前記歯列弓模型と前記咬合停止部材とが接触するように、前記患者の歯列弓模型を前記歯列矯正装具とともに前記トレー成型容器内に定置する工程と、

前記マトリックス材料を固化させる工程と、

前記トレー成型容器を固化したマトリックス材料から取り外す工程であって、前記トレー成型容器を前記固化したマトリックス材料から取り外す前記行為が、前記トレー成型容器を前記咬合停止部材から切り離す行為を含む工程と、を備える方法。